



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜市中区末吉町1丁目計画 新築工事	階数	地上10F
建設地	神奈川県横浜市中区末吉町1丁目17	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	126 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年6月20日
敷地面積	694 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 現代総合設計
建築面積	439 m <sup>2</sup>	確認日	2025年6月20日
延床面積	3,193 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 現代総合設計

外観パース等(任意)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み 77%</p> <p>③上記+②以外の 77%</p> <p>④上記+ 77%</p> <p>92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.8</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.1</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.3</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 3.7</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>住宅性能評価で断熱等性能4等級、一次エネルギー消費量4等級を超える計画とし、省エネルギーに配慮している。中庭の設置、敷地境界線際の植栽、屋上緑化の設置など、良好な緑環境に配慮している。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>室内環境の向上に配慮し、日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える性能、住居部開口部遮音性能T-2、高い昼光率、カテーンおよび上部バルコニーによる昼光制御が可能な設計とした。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>躯体は劣化対策等級3相当とし、内装材の更新間隔の長い材料の採用、ゆとりある階高により、建物のサービス性能向上・長寿命化に配慮している。</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>道路に面した緑地により、良好な緑環境を考慮した。7フロア部分に底空間を設けて都市空間の活動上アメニティ向上、死角をつくらない設計等防犯性に配慮した。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える性能、潜熱回収給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LGS工法を採用して部材の再利用の可能性を高めている。ODP・GWPIに配慮した断熱材を採用し、資源・マテリアルの消費低減および環境負荷削減を考慮した。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



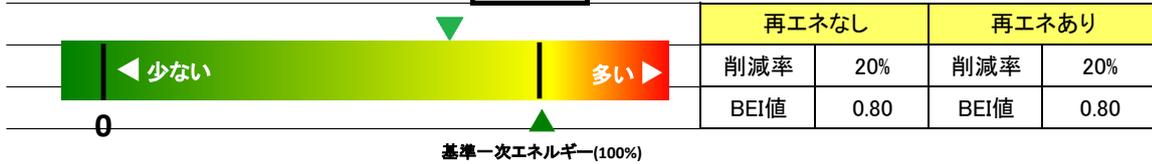
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅> 受付日 2025年6月20日

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)横浜市中区末吉町1丁目 計画 新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 4

##### ■省エネルギー性能

この建物の設計一次エネルギー消費量 20 %削減



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

レベル4を超える水準の断熱性能を満たす

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 4

##### ■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級5 (相当) ※複数の等級が混在する場合は最も低い等級とする。

##### ■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

##### ■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑰部品・部材の耐用年数向上 ⑱信頼性)

住宅の品質確保の促進に関する法律において等級3相当

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境 ㉑まちなみ・景観 ㉒地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
_____	
エネルギーマネジメントシステム導入	
_____	



CASBEE横浜2025年版v1.0  
 (仮称)横浜市中区末吉町1丁目計画 新築工事

バージョン CASBEE横浜2025年版v1.0

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q 建築物の環境品質				-	-	-
Q1 室内環境				-	0.40	-	-	3.8
1 音環境				2.0	0.15	3.2	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音				1.0	0.50	3.5	0.50	-
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能				-	-	2.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				-	-	-	-	-
2 温熱環境				1.6	0.35	5.0	1.00	4.4
2.1 室温制御				2.2	0.50	5.0	1.00	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.38	5.0	1.00	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	1.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境				2.8	0.25	3.7	1.00	3.5
3.1 昼光利用				3.6	0.30	3.4	0.50	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	4.0	0.60	5.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	1.0	0.30	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境				4.0	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				4.0	0.40	3.0	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	0.50	5.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	1.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	2.8
1 機能性				3.0	0.40	2.6	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	1.00	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑮信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑮信頼性	1.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑮信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.2	0.50	-
1 階高のゆとり				-	-	4.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ				-	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	-

3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.1
1	生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	18生物環境の保全と創出	2.0	0.30		2.0
2	まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	19まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40		2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	20地域性への配慮	3.0	0.50		-
3.2	敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	14敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50		-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	1建物熱負荷抑制	4.0	0.20		4.0
2	自然エネルギー利用	省エネルギー性能	2自然エネルギー利用	3.0	0.10		3.0
3 設備システムの高効率化			4.0	0.50		-	4.0
	集合住宅以外の評価	省エネルギー性能	3設備システムの高効率化		-		-
	集合住宅の評価	省エネルギー性能	3設備システムの高効率化	4.0	1.00		-
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外の評価			-		-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	4効率的運用		-		-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	4効率的運用		-		-
	集合住宅の評価		3.0	1.00		-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	4効率的運用	3.0	0.50		-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	4効率的運用	3.0	0.50		-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20		-	3.0
1.1	節水		3.0	0.40		-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無			-		-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	-
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20		-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	-
1	消火剤			-		-	-
2	発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50		-	-
3	冷媒		3.0	0.50		-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.3
1 地球温暖化への配慮			3.9	0.33		-	3.9
2 地域環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	-
1	騒音		3.0	1.00		-	-
2	振動			-		-	-
3	悪臭			-		-	-
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40		-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	-
2	砂塵の抑制		1.0	-		-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-
3.3	光害の抑制		3.7	0.20		-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		4.0	0.70		-	-
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-
上記以外の重点項目				-		-	-
<事務用途>				-		-	-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	13知的生産性向上への取組	-	-	-	-
<住宅用途>				-		-	-
健康と安心				-		-	-
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心	6健康対策	3.0	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	7防犯対策	1.0	-	-	-